

対象疾患	No	レジメン
骨髄異形成症候群 (myelodysplastic syndromes)	MDS-2	アザシチジン療法

登録日： 年 月 日 参考文献： _____

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
アザシチジン	骨髄異形成症候群	有効時継続	28日	中	年 月 日

*** 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
アザシチジン	75mg/m ²	皮下注 もしくは 点滴静注	点滴静注 10分	○	○	○	○	○	○	○																							
注射用水	20ml																																
生理食塩液	50ml																																

*** 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

【アザシチジン】

- ・中等度催吐制リスクのため、グラニセトロンなどの投与を考慮すること。
- ・注射用水で溶解し皮下注射する際は懸濁液のまま投与。点滴静注の場合は生理食塩液50mlに希釈して10分かけて投与すること。
- ・薬剤の安定性の観点から調製後1時間以内に投与を終了すること。
- ・骨髄抑制が起こることがあるため、各症状には注意すること。
- ・感染症が起こることがあるため、発熱等の症状が出た場合は受診すること。
- ・Ccr<30ml/minで投与を行うと腎機能正常の場合と比較して血中濃度等が上昇するとの報告がある。